

事業報告書（地域づくり事業）

団体名 齋川まちづくり協議会

<p>事業実施団体名・代表者役職・氏名</p>	<p>齋川まちづくり協議会 会長 保科 惣一郎</p>
<p>事業内容</p>	<p>◇齋川夏まつり（齋川夏まつり実行委員会） 花火の協賛を募集して打上花火をメインとした夏まつりを実施。</p> <p>◇令和6年度 奥州白石齋川宿マップ『はじめまして、齋川と申します。』活用事業（齋川楽しみ隊） 地域内外にチラシ等で周知し、地域内の史跡を知ってもらうためのまち歩きを実施。</p> <p>◇史跡活用環境整備事業（豊かな齋川地区を創る会） 空き家や空き地を有効活用し、地域の交流拠点を創る活動。</p>
<p>事業成果や効果</p>	<p>今年度は交付金を活用して、以下のような3つの事業が実施された。</p> <p>◇齋川夏まつりでは、打上花火の資金を集めるため、紙のチラシだけでなく、SNSを活用して協賛金を募集したことで、県外からの協賛者も得て多くの方に喜ばれた。また、役員の負担を減らしつつ、より多くの方に喜んでもらう為にはどうしたらよいかを考え、夏まつり盆踊り大会を全面リニューアル。屋台の運営方法を変え、清掃ボランティアを募集したり、風鈴の絵付け体験ブースを設けるなど新たな取り組みを実施したところ、これまで以上に多様な世代の交流の場になった。また、風鈴の絵付け体験で参加者が絵付けした風鈴を地域の神社に展示したところ、地域の夏の見どころとなり大変喜ばれた。</p> <p>◇令和6年度 奥州白石齋川宿マップ『はじめまして、齋川と申します。』活用事業では、好評となっているまち歩きの事業をさらにリニューアル。古地図を使うことで、有望な見学地が少ないコースを事業化できるように工夫し、地域内のボランティア団体とのコラボで参加者への飲食物の提供があるなど、地区内での連携協力も出来てきている。メンバーは更なる知識習得のため、新たに文化財調査の取組みも始め、これからのまち歩き事業の進展も楽しみである。また、過去</p>

のまち歩きコースにあるギンナンの活用を検討する事業では、収穫したギンナンを地区内全戸にパンフレットを付けて配布することで、地域の歴史や文化財に関する周知を進めることができた。

◇史跡活用環境整備事業では、斎川検断屋敷と同じ様に朽ち果てている蔵をリノベーションし、ホテルとして活用している西会津を視察し、話を聞いたことで、視察に参加したメンバーが関心を待ち新たな会員となり、さらにパワーアップした取り組みが展開された。特に、巨大化した木の伐採では、20代が中心となり指揮をとり作業を実施。屋敷内のリフォームでは、大工さんに協力をいただき、その技術を学びながら一部屋ではあるが天井・壁・床を修理し、建築資材代のみで安心して住民が集える場を作り上げた。さらに、今年は検断屋敷以外の史跡「鬼ずるす石」の整備も手掛け、活動の幅が広がった。

以上の事業を通して、多世代間や地域内外の方々の交流がこれまで以上に図られたとともに、地域内の課題に対してもワガゴト化して、前向きにとらえ対応する姿が見えてきている。また、地区計画に明記している「具体的な取り組みの方向性」が事業実施年度通りに推進され、「絆とつながりをさらに強め、持続可能なまち「斎川」を育む」の実現に近づいている。

収 支 決 算 書（地域づくり事業）

団体名 齋川まちづくり協議会

1 収入の部

(単位：円)

項 目	予算額	決算額	摘 要
人と地域が輝く未来共創 交付金	742,000	742,000	
団体自己資金	0	256,381	齋川夏まつり実行委員会 (219,000円) 齋川楽しみ隊 (37,381円)
一般協賛金	0	433,000	齋川夏まつり実行委員会 (433,000円)
参加費	0	15,000	齋川楽しみ隊 (15,000円)
助成金	0	64,890	齋川夏まつり実行委員会 (64,890円)
雑収入	0	20,000	齋川夏まつり実行委員会 (20,000円)
計	742,000	1,531,271	

2 支出の部

(単位：円)

項 目	予算額	決算額	うち交付金対象額
事業に係る経費	594,000	1,448,031	709,678
交付金交付事務に係る経費	148,000	32,322	32,322
(消耗品代)		(31,002)	
(振込手数料)		(1,320)	
計	742,000	1,480,353	742,000

収入決算額 1,531,271 円 - 支出決算額 1,480,353 円 = 剰余金 50,918 円（齋川楽しみ隊 50,918 円）
 剰余金は今後の活動のための資金とします。